

第3回加東市行財政改革推進委員会 会議の概要

(平成22年度 第3回推進委員会)

開催日時	平成23年2月8日(火) 午後7時～午後9時
開催場所	加東市役所 社庁舎 3階 第一委員会室
出席状況	委員：12名(全員出席) 市側：山田副市長 事務局：企画部長、企画政策課長ほか1名
会 議 の 概 要	
<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ 新谷委員長 山田副市長</p> <p>3 協 議</p> <p>(1) 大綱策定スケジュールの変更について →委員会からの答申を受ける前にパブリックコメント手続を実施し、市民等から意見を募集するスケジュールに変更することとした。</p> <p>(2) 行財政改革大綱の策定について</p> <p>①行財政改革大綱に対する委員の意見と市の回答 ②第Ⅰ部加東市行財政改革大綱素案 ②第Ⅱ部加東市行財政改革大綱実施計画素案 ④その他 →市の若手職員の活用や士気が高揚するような行政運営について、委員の意見を取りまとめ、答申とは別に市に提案することを決定した。 →2月25日(金)までに意見等を事務局に提出する。</p> <p>(3) 次回の推進委員会の日程について →平成23年3月31日(木)午後4時から開催を予定するが、変更が必要な場合は連絡する。</p> <p>4 閉 会</p>	

主な意見の要旨等〔→以下は、事務局等の回答〕

【行財政改革大綱（素案）に対する意見等】

- 下水道事業の起債（地方債）について、繰上償還ができないとはどういうことか。
 - 繰上償還する場合は通常、地方債の借入初年度に計画した償還計画に基づいて、残りの償還期限までの利子相当額を補償金として支払う必要があります。
 - 貸す側（国）も貸付による長期的な資金計画を立てていると思うので、繰上償還という環境の変化を避けたいのではないかと推測します。
- 下水道使用料の改定は、いつ頃を予定しているか。
 - 合併当初の料金設定が低かったと認識しており、今後、時期や料金水準を検討し、議会で審議いただきたいと考えている。
- 大綱に「新しい公共」という文言を入れたのは、良いと思う。国では、官だけでなく、市民、NPO、企業などが積極的に公共的な財・サービスの提供主体となり、身近な分野において、共助の精神で活動する「新しい公共」の推進について、「新しい公共推進会議」が開催されている。
- 電子自治体の推進について、電算システムを近隣市との広域行政で実施すれば経費の削減にもなると思うが、こういったことを大綱に反映（記載）できないか。また、加東市が主導的に進められないのか。
 - 国・県のリードが必要だと思う。その中で、兵庫県の取組は弱いと感じている。
 - このたびの大綱の計画期間は25年度までとなっているので、大綱に明記して取り組んでいくのは難しい。
- 地域経済活性化基本計画を策定することになっているが、企業立地や観光、地場産業など非常に大きなテーマ、大切な取組項目であると思う。また、地場の宝が埋没している部分があるのではないか。
 - （委員長）加東市の特産に「こいのぼり」があり、子どもの健やかな成長を願うものである。そして、兵庫教育大学も教員を養成する教育機関（大学）で共通していることから、「こいのぼり」の活用を考えている。
 - 経済活性化を担当する部署としても、行革を担当する企画部門としても大きな課題と受け止めて、より良い計画を策定したい。

【その他、市の若手職員の活用士気が高揚するような行政運営についての意見等】

- 現状は、職員から市長をはじめ上司に、物が言いにくい状況なのか。
 - 市長直轄の意見具申グループ編成やメールなどもあり、意見が言いやすい環境ではないかと思う。
- 民間である業務改善提案制度などの導入が有効ではないか。コスト削減だけでなく自身の業務を振り返る機会が得られるなど効果は大きいと思う。
- 組織のトップによって様々な考え方があがるが私は、市長が抜き打ちで職員が働いている現場に行くのが、一番効果があると思う。